

平成 2 5 年 度

町 財 政 の 状 況

一 般 会 計	2 ページ
国民健康保健事業特別会計	9 ページ
後期高齢者医療特別会計	10 ページ
簡易水道事業特別会計	11 ページ
公共下水道事業特別会計	12 ページ
農業集落排水事業特別会計	13 ページ

ニセコ町の財政の状況

東日本大震災から3年を経過し、国内では復旧・復興努力を最大限進めるとともに、政府はアベノミクスと銘打つデフレ脱却に向けた経済対策を実施し、円安が継続的となったことにより、資本投資、消費動向が活発化し、景気は回復傾向となっています。

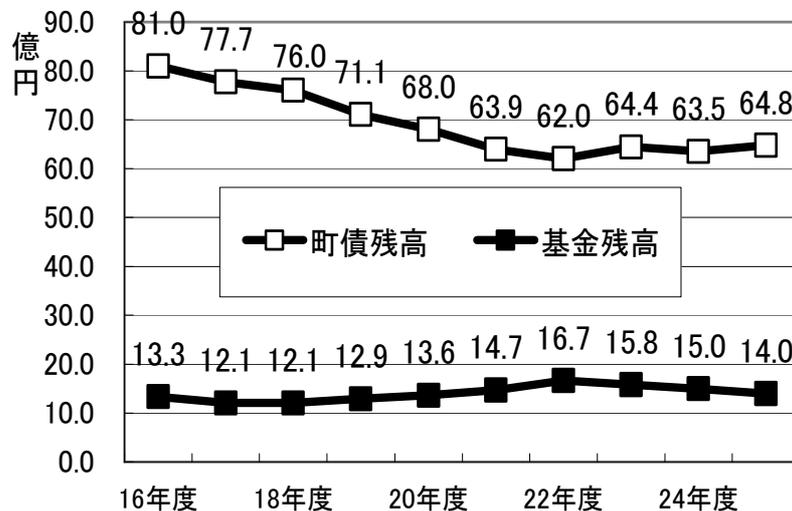
しかしながら、急激な円安等により輸入原料価格の上昇、さらには消費税増税による国内消費の冷え込みの可能性など不安定要素も多く、未だ予断を許さない状況となっています。

国においては、消費税増税による消費の下支えを目的に平成26年度においても15ヶ月予算として大型補正予算を実施しています。しかしながら予算の半分は国債でまかなっている状態は変わりなく復興、デフレ脱却と財政の健全化は、待ったなしで対処しなければならない状況に直面しています。

ニセコ町における近年の財政状況は、国の経済対策補正事業、独自施策等の投資的事業の実施により平成23年度より3ヵ年連続で基金の取り崩しを行い、必要とする公共整備事業等に充当し、積極的な財政運営を行ってきています。

平成25年度の一般会計決算は、繰越事業として地域の元気臨時交付金を活用した「公営住宅改善事業」や「雪利用米穀貯蔵施設整備事業」実施により、歳入歳出ともに前年度決算額を上回っています。なお、実質収支は繰越事業に必要な財源を控除し1億4,093万円を確保しています。実質収支額については将来に向けとり進める各種計画や事業推進へ向けた基金への積立、事業単価上昇等による事業補正等に対応するため全額を繰越金としています。なお、公共施設整備基金の1億円、地域福祉基金の500万円を取り崩したことにより、基金残高は1億94万円減少して13億9,779万円(6.7%減)となりました。

【グラフ1】基金（貯金）・町債（借入金）の残高推移



また、土木費の道路防災総点検事業に関するの予算合計610万円を平成26年度に繰り越しています。

翌年度への繰越事業

単位:千円

区分	款	事業名	繰越額	左の財源内訳		
				既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
繰越明許費	土木費	道路防災総点検事業	6,100		3,900	2,200
繰越明許費計			6,100	0	3,900	2,200

普通建設事業では、繰越事業での「公営住宅改善事業」や「雪利用米穀貯蔵施設整備事業」の実施や、当年度予算で「高齢者グループホーム建設事業」、「公営住宅修繕事業」、「教員住宅修繕事業」などのほか、「羊蹄近藤連絡線歩道設置工事」の実施など生活環境水準の向上や、「総合体育館機能向上事業」、「有島記念館周辺整備事業」など教育環境の整備を進めています。

ソフト事業では「木質バイオマス実行可能性調査業務」や「ニセコ産品ブランド化業務」等の実施、単独事業として「高度医療機器導入補助」「高齢者グループホーム整備事業補助」の実施や「子ども医療費制度」の継続など福祉施策の充実、クリーン農業、6次産業化の推進や海外プロモーション事業、アンヌプリ地区泉源ポンプ改修など本町の基幹産業である農業・観光の振興に力を注ぎました。

平成25年度の一般会計歳入総額は50億3,876万円となりました。主要財源である地方交付税は、19億4,770万円となり対前年度2,914万円減、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税についても3,444万円の減少となっています。

国庫支出金では雪利用米穀貯蔵施設整備事業や公営住宅改善事業の実施により前年度対比で3億2,118万円(101.9%増)の増額となりました。なお、町債は2億1,369万円の増加(39.1%増)となっています。

「高齢者グループホーム建設事業」や「総合体育館機能向上事業」、「有島記念館周辺整備事業」などの実施のほか、地方交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行、ソフト事業に対する過疎対策事業債の活用などを行っていますが、繰越事業の普通建設事業の大幅な増加が主な要因となっています。いずれも国から償還経費の財源補てんが行われる有利な借入金の活用を行っています。

平成25年度一般会計歳出総額も、繰越事業の実施により大幅な増加となり48億9,473万円と前年度対比で5億1,837万円(11.8%)の増加となりました。

款別では、民生費と農林水産業費が大きく増加しており、「高齢者グループホーム建設事業」、「雪利用米穀貯蔵施設整備事業」の実施が主な増加要因となっています。

公債費は1,051万円減少しており、平成18年度をピークに償還額は年々減少傾向にあります。

財政の状態を示す実質収支(※1)は1億4,093万円の黒字ですが、昨年度実質収支額をそのまま繰越金としたため実質単年度収支(※2)は4,038万円のマイナスとなりました。経常収支比率(※3)は、人件費や公債費など減少となったが分母である地方交付税額の減少により86.2%と前年度から0.2ポイント微増しました。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回る結果となっています。

健全化判断比率(平成25年度決算に基づく算定結果)

健全化判断比率の指標	ニセコ町算定値	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	14.7%	25.0%
将来負担比率	86.8%	350.0%

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率はない(「—」は黒字であることを表す)

【実質赤字比率】一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

【連結実質赤字比率】全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率

【実質公債費比率】一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

【将来負担比率】一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

健全化判断比率のうち、地方債の協議制への移行基準となる実質公債費比率は、14.7%と0.1ポイント増加しました。

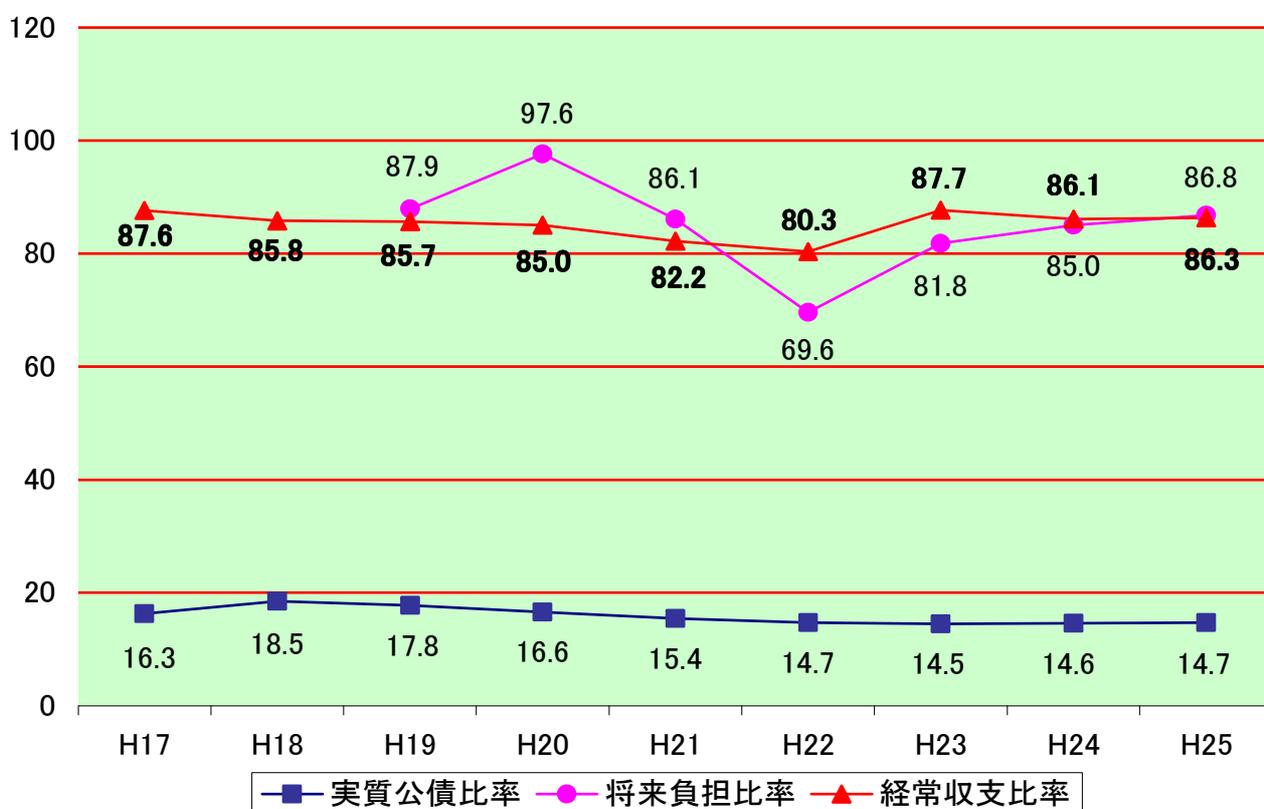
本町では地方債の残高及び単年度償還額のいずれもピークを経過したため、これらの比率は今後減少すると見込んでいますが、公債費負担と財源確保のバランスに今後も留意する必要があります。

決算財政指標（一般会計）

単位：千円、%

区 分		平成25年度 ①	平成24年度 ②	増減額 ①－②	増減率 ①／②
決算 収支	歳入合計 A	5,037,861	4,558,063	479,798	10.5
	歳出合計 B	4,894,729	4,376,363	518,366	11.8
	歳入歳出差引額 C=A-B	143,132	181,700	△ 38,568	△ 21.2
	翌年度に繰越すべき財源 D	2,200	194	2,006	1034.0
	実質収支額 E=C-D	140,932	181,506	△ 40,574	△ 22.4
	単年度収支額 F=今年度E-前年度E	△ 40,574	69,323	△ 109,897	△ 158.5
	財政調整基金積立額 G	198	222	△ 24	△ 10.8
	繰上償還額 H	0	0	0	-
	財政調整基金取崩し額 I	0	0	0	-
	実質単年度収支額 J=F+G+H-I	△ 40,376	69,545	△ 109,921	△ 158.1

【グラフ2】 財政状況指数の推移



(※1) 実質収支 形式収支－翌年度に繰り越すべき財源

(形式収支：歳入決算額－歳出決算額)

(※2) 実質単年度収支 単年度収支＋財政調整基金積立金＋地方債繰上償還額

－財政調整基金取崩額

(単年度収支：当該年度実質収支－前年度実質収支)

(※3) 経常収支比率 $\frac{\text{経常的経費に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源}} \times 100$

経常一般財源

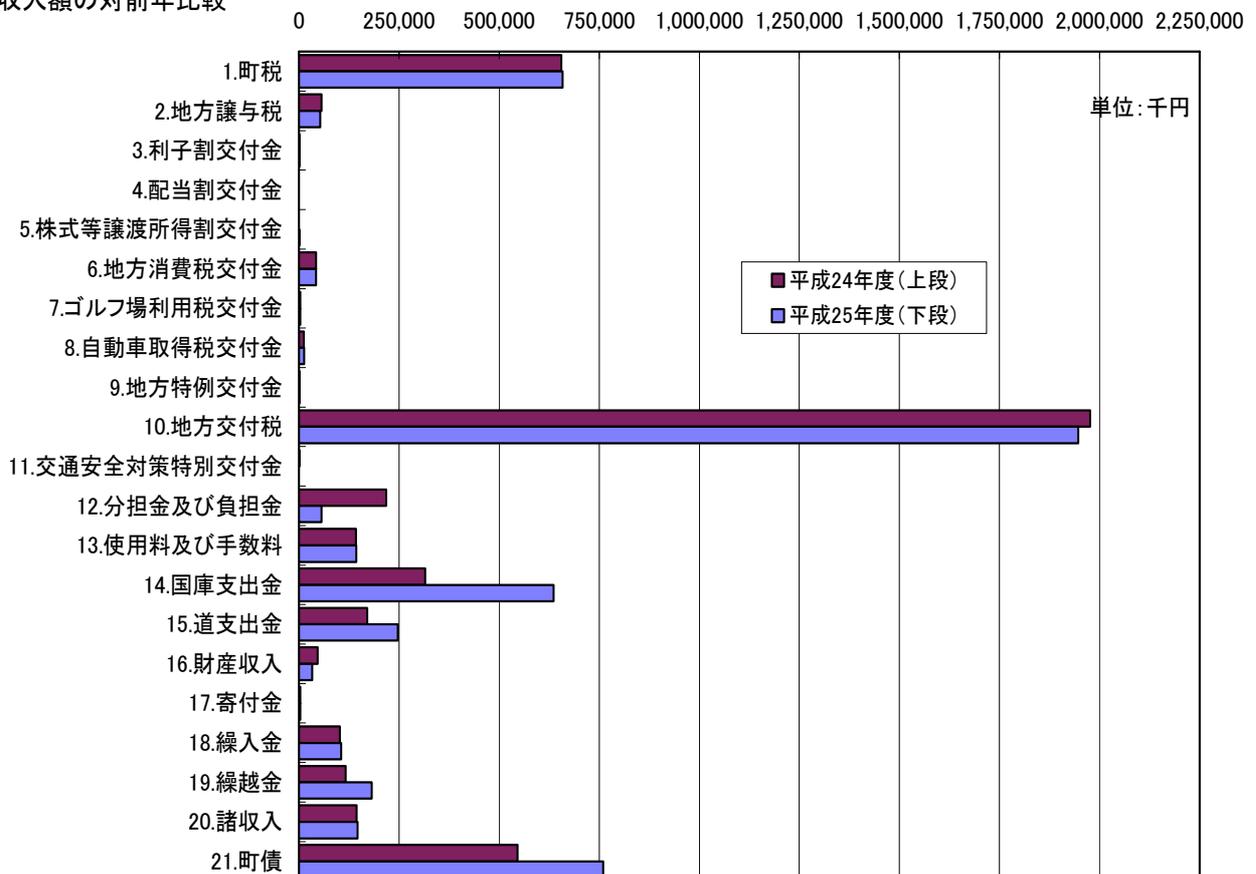
平成25年度決算

一般会計 (歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	構成比
1. 町税	657,241	689,900	658,473	1,580	29,847	95.4	13.1
2. 地方譲与税	54,322	53,739	53,739			100.0	1.1
3. 利子割交付金	700	985	985			100.0	0.0
4. 配当割交付金	400	862	862			100.0	0.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	100	1,181	1,181			100.0	0.0
6. 地方消費税交付金	42,593	42,593	42,593			100.0	0.8
7. ゴルフ場利用税交付金	2,900	3,180	3,180			100.0	0.1
8. 自動車取得税交付金	9,000	13,734	13,734			100.0	0.3
9. 地方特例交付金	1,060	1,060	1,060			100.0	0.0
10. 地方交付税	1,940,587	1,947,697	1,947,697			100.0	38.7
11. 交通安全対策特別交付金	1,000	909	909			100.0	0.0
12. 分担金及び負担金	61,581	56,742	56,531		211	99.6	1.1
13. 使用料及び手数料	147,382	146,431	143,254		3,177	97.8	2.8
14. 国庫支出金	655,241	636,546	636,546			100.0	12.6
15. 道支出金	253,610	246,674	246,674			100.0	4.9
16. 財産収入	33,760	33,446	33,446			100.0	0.7
17. 寄付金	3,742	3,740	3,740			100.0	0.1
18. 繰入金	105,234	105,235	105,235			100.0	2.1
19. 繰越金	181,700	181,701	181,701			100.0	3.6
20. 諸収入	143,826	146,518	146,266		252	99.8	2.9
21. 町債	771,355	760,055	760,055			100.0	15.1
合計	5,067,334	5,072,928	5,037,861	1,580	33,487	99.3	100.0

収入額の対前年比較

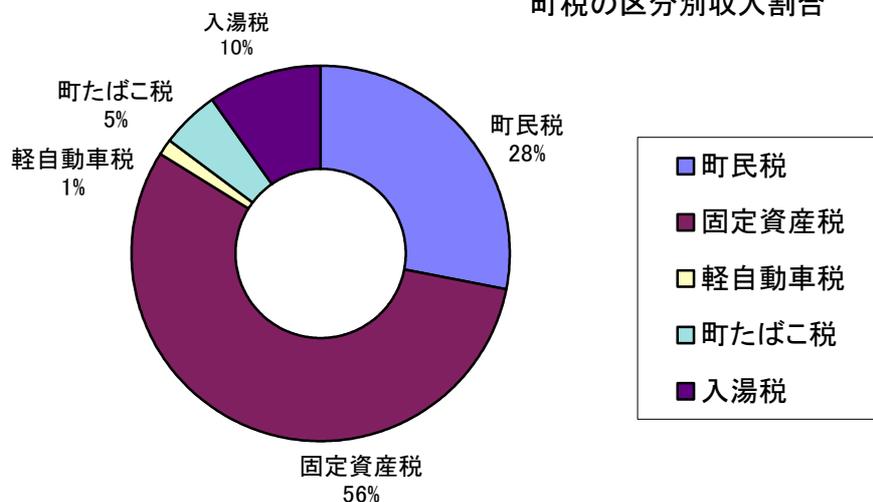


町税の状況

(単位：千円、%)

区分	税目	予算現額	調定額	収入済額	未収入額	徴収率	
現年課税分	町民税	個人	158,840	165,456	159,598	5,858	96.5
		法人	21,536	22,185	21,575	610	97.3
		計	180,376	187,641	181,173	6,468	96.6
	固定資産税	一般	363,800	367,148	364,155	2,993	99.2
		交付金	83	84	84	0	100.0
		計	363,883	367,232	364,239	2,993	99.2
	軽自動車税		9,276	9,421	9,291	130	98.6
	町たばこ税		32,718	32,718	32,718	0	100.0
入湯税		63,885	63,885	63,885	0	100.0	
	計	650,138	660,897	651,306	9,591	98.5	
滞納繰越分	町民税	個人	3,254	11,344	3,315	7,807	29.2
		法人	389	970	390	580	40.2
		計	3,643	12,314	3,705	8,387	30.1
	固定資産税		3,335	16,312	3,336	11,640	20.5
	軽自動車税		125	377	126	229	33.4
		計	7,103	29,003	7,167	20,256	24.7
合計		657,241	689,900	658,473	29,847	95.4	

町税の区分別収入割合



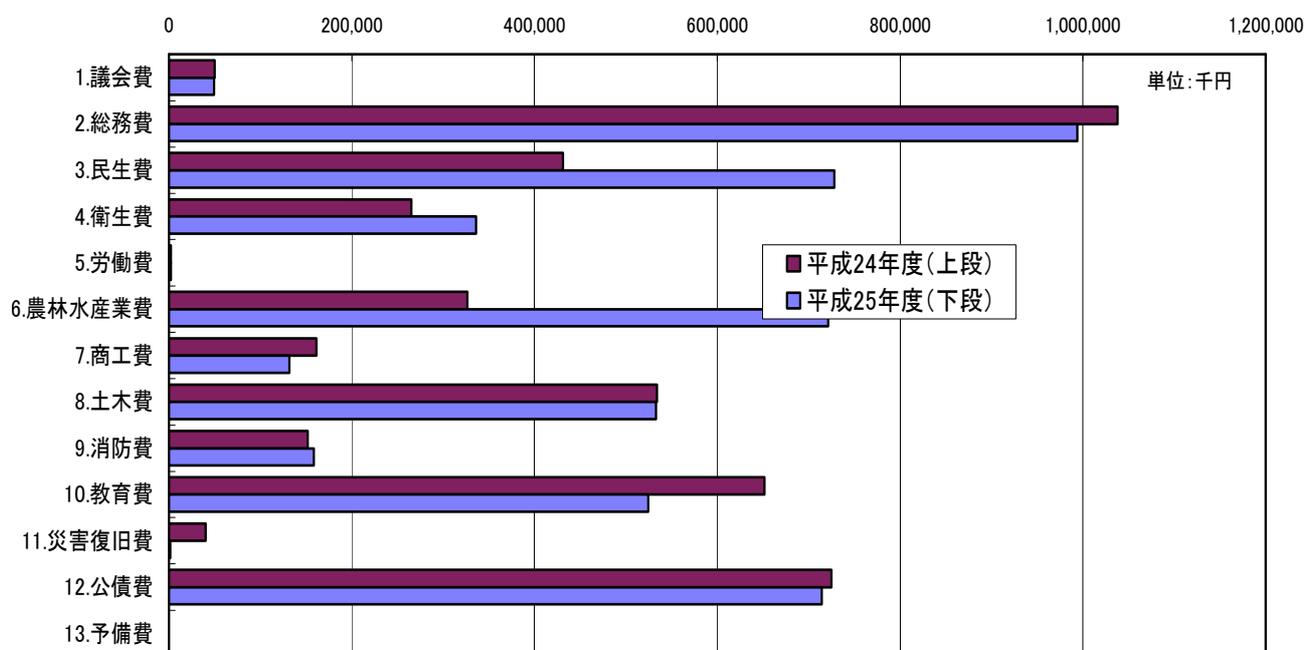
町税の収納状況は、収入総額6億5,847万円で前年度対比268万円(0.4%)の微増となりました。町民税で1,867万円の減収となり、その他の税目の増加が見られます。ただし、徴収率においては95.4%と0.1%減のほぼ微減となっており、景気回復が見受けられるが景気が回復しきれず不安定な状況であることがうかがえます。平成19年度から実施された住民税への税源移譲により、個人住民税の課税額が増加した半面、滞納額も増加していることから、町税をはじめ使用料などの更なる収納強化に努める必要があります。

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	構成比
1. 議会費	50,510	49,337		1,173	97.7	1.0
2. 総務費	1,028,289	994,121		34,168	96.7	20.3
3. 民生費	751,792	728,193		23,599	96.9	14.9
4. 衛生費	348,445	336,046		12,399	96.4	6.9
5. 労働費	2,035	2,033		2	99.9	0.0
6. 農林水産業費	756,676	721,283		35,393	95.3	14.7
7. 商工費	140,029	132,046		7,983	94.3	2.7
8. 土木費	551,183	532,921	6,100	12,162	96.7	10.9
9. 消防費	166,488	158,590		7,898	95.3	3.2
10. 教育費	550,623	524,372		26,251	95.2	10.7
11. 災害復旧費	2,133	1,533		600	71.9	0.0
12. 公債費	716,458	714,254		2,204	99.7	14.6
13. 予備費	2,673	0		2,673	0.0	0.0
合計	5,067,334	4,894,729	6,100	166,505	96.6	100.0

支出額の対前年比較



**国民健康保険事業特別会計
(歳入)**

(単位：千円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	構成比
1. 国民健康保険税	147,880	192,950	165,760	691	26,499	85.9	58.1
2. 財産収入	1	1	1			100.0	0.0
3. 繰入金	110,908	93,112	93,112			100.0	32.7
4. 繰越金	50	153	153			100.0	0.1
5. 諸収入	26,072	26,108	26,108			100.0	9.2
合 計	284,911	312,324	285,134	691	26,499	91.3	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	構成比
1. 総務費	283,606	282,750		856	99.7	99.8
2. 基金積立金	1	1		0	100.0	0.0
3. 諸支出金	936	594		342	63.5	0.2
4. 予備費	368	0		368	0.0	0.0
合 計	284,911	283,345	0	1,566	99.5	100.0

平成25年度の国民健康保険事業特別会計は、歳入総額が2億8,513万円で前年度対比5,736万円(25.2%)の増額となりました。国民健康保険税の徴収率は0.5ポイント増加し、85.9%となっています。

歳出総額は2億8,334万円となり、前年度対比5,572万円(24.5%)の増額となりました。実質収支は179万円の黒字で平成26年度へ繰り越しています。

基金の平成25年度末現在高は352万円となります。

**後期高齢者医療特別会計
(歳入)**

(単位：千円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	構成比
1. 後期高齢者医療保険料	31,522	32,326	30,879	120	1,327	95.5	65.9
2. 繰入金	16,000	15,785	15,785			100.0	33.7
3. 繰越金	100	37	37			100.0	0.1
4. 諸収入	205	130	130			100.0	0.3
合 計	47,827	48,278	46,831	120	1,327	97.0	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	構成比
1. 総務費	703	455		248	64.7	1.0
2. 後期高齢者医療広 域連合納付金	46,823	46,127		696	98.5	98.7
3. 諸支出金	230	130		100	56.5	0.3
4. 予備費	71	0		71	-	0.0
合 計	47,827	46,712	0	1,115	97.7	100.0

平成25年度の後期高齢者医療特別会計の歳入総額は4,683万円で前年度対比65万円(1.4%)の増額となりました。歳出総額は4,671万円となり前年度対比56万円(1.2%)の増額となっています。実質収支は12万円の黒字で、平成26年度へ繰り越しています。

**簡易水道事業特別会計
(歳入)**

(単位：千円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	構成比
1. 材料及び手数料	85,373	90,960	89,384		1,576	98.3	53.0
2. 国庫支出金					0	#DIV/0!	0.0
3. 繰入金	82,653	78,300	78,300			100.0	46.5
4. 繰越金	50	125	125			100.0	0.1
5. 諸収入	725	724	724			100.0	0.4
6. 町債						#DIV/0!	0.0
合計	168,801	170,109	168,533	0	1,576	99.1	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	構成比
1. 総務費	24,988	24,762		226	99.1	14.7
2. 管理費	60,023	59,839		184	99.7	35.5
3. 建設改良費				0	-	0.0
4. 公債費	83,790	83,789		1	100.0	49.8
5. 予備費	0	0		0	#DIV/0!	0.0
合計	168,801	168,390	0	411	99.8	100.0

平成25年度の簡易水道事業特別会計、歳入総額は1億6,853万円で前年度対比4,470万円(21.0%)の減額となりました。歳出総額も1億6,839万円となり前年度対比4,472万円(21.0%)の減額となりました。実質収支は14万円の黒字で、平成26年度へ繰り越しています。

なお、簡易水道事業特別会計は黒字のため、財政健全化法における資金不足比率は生じませんでした(経営健全化基準は資金不足比率20.0%以上)。

**公共下水道事業特別会計
(歳入)**

(単位：千円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	構成比
1. 分担金及び負担金	151	200	200			100.0	0.1
2. 使用料及び手数料	35,125	36,919	36,145		773	97.9	20.5
3. 国庫支出金	3,500	3,500	3,500				
4. 繰入金	110,175	108,800	108,800			100.0	61.6
5. 繰越金	50	73	73			100.0	0.0
6. 町債	27,800	27,800	27,800			100.0	15.7
合計	176,801	177,292	176,518	0	773	99.6	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	構成比
1. 総務費	19,972	19,872		100	99.5	11.3
2. 管理費	35,964	35,706		258	99.3	20.2
3. 建設改良費	7,204	7,173		31	99.6	4.1
4. 公債費	113,661	113,660		1	100.0	64.4
5. 予備費	0	0		0	#DIV/0!	0.0
合計	176,801	176,411	0	390	99.8	100.0

平成25年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は、1億7,652万円で前年度対比559万円(2.4%)の増額となりました。歳出総額も1億7,641万円となり、前年度対比556万円(2.4%)の増額でした。実質収支は11万円の黒字で、平成26年度へ繰り越しています。

なお、公共下水道事業特別会計は黒字のため、財政健全化法における資金不足比率は生じませんでした(経営健全化基準は資金不足比率20.0%以上)。

**農業集落排水事業特別会計
(歳入)**

(単位：千円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収納率	構成比
1. 分担金及び負担金	1	0	0			-	0.0
2. 使用料及び手数料	457	486	486			100.0	5.5
3. 繰入金	8,492	8,300	8,300			100.0	93.6
4. 繰越金	50	83	83			100.0	0.9
合 計	9,000	8,869	8,869	0	0	100.0	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率	構成比
1. 総務費	11	9		2	81.8	0.1
2. 管理費	1,342	1,247		95	92.9	14.2
3. 公債費	7,597	7,516		81	98.9	85.7
4. 予備費	50	0		50	0.0	0.0
合 計	9,000	8,772	0	228	97.5	100.0

平成25年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は、887万円で前年度対比75万円(7.8%)の減額となりました。歳出総額も877万円となり前年度対比77万円(8.0%)の減額でした。実質収支は10万円の黒字となり、平成26年度へ繰り越しています。

なお、農業集落排水事業特別会計は黒字のため、財政健全化法における資金不足比率は生じませんでした(経営健全化基準は資金不足比率20.0%以上)。

